

株 主 メ モ	
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の 全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
公告方法	http://www.nextgen.co.jp/ir/index.php 電子公告とし、当社ホームページに掲載し ます。但し、事故その他やむを得ない事由 により、電子公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載します。

●住所変更等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社は、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード **3842**

いいかぶ 検索

空メールによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。





株式会社ネクストジェン

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-4 KDX麹町ビル9F
TEL : 03-3234-6855 FAX : 03-3234-6857



株式会社ネクストジェン

■ ホームページのご紹介



株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとした情報開示を行っております。また、当社の事業内容や動向が紹介されておりますので、当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

http://www.nextgen.co.jp/



株主通信

第9期 2009.01.01 ▶ 2009.12.31

To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役社長

大西 新二

企業理念

生活を支える
通信サービスの分野において
技術が生みだす
新たな価値を通じて
人々に安心と喜び、
そして豊かさを提供する。

当期の経営環境および業績について

株主の皆様には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2009年12月期における当社の業績につきましては、売上高1,392,731千円（前年同期比43.4%の増加）、営業利益16,679千円（前年同期は330,661千円の営業損失）、経常利益13,993千円（前年同期は332,459千円の経常損失）、当期純利益は27,124千円（前年同期は369,454千円の当期純損失）と、前期の業績を大幅に上回り、営業黒字化を達成いたしました。

さらなる飛躍に向けて

2010年12月期は、2009年12月期を初年度とする中期事業計画の中間地点となります。

「インフラ・プラットフォーム志向からソリューション・サービス志向への脱却を目指す」ことを柱にスタートした中期事業計画ですが、初年度においては市場と製品の両面での選択と集中、さらに全社を挙げてのコスト削減が奏功したことで、業績回復への第一歩をクリアした形となりました。

2010年度は、その成果を踏まえつつ、新たな飛躍に向けた次なる一歩を踏み出すことが求められています。当社の強みを最大限発揮できる通信事業者市場に軸足を置きつつ、グループシナジーを活用してのエンタープライズ市場や海外市場への進出を視野に入れ、市場の拡大に注力いたします。

今後も高度化する情報通信技術に向けた研究開発に取り組み、当社のコアである「繋ぐ」「使う」「守る」「操る」技術で新たな価値を生み出すことで社会に貢献するとともに、収益基盤をより一層強化し、新たな成長機会の追求に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きさらなるご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Basic Concepts of Our Solutions

ネクストジェンのネットワーク・ソリューション

すべてのソリューションにファイブ・ナイン (99.999%) の安心を

ファイブ・ナイン (99.999%) とは、システムのダウンタイムが1年間で5分15秒以内、すなわち稼働率が99.999%であることを指す用語です。重要な社会インフラであるネットワークサービスを支える当社の製品には、常にこの「ファイブ・ナイン」の品質

が求められます。

ネクストジェンのこのキャリア・グレード品質は、「繋ぐ」「使う」「守る」「操る」の4つのコア技術からなるネットワーク・ソリューションに共通するコンセプトです。

■ 製品とソリューションのイメージ



Our Products

製品のご紹介

繋ぐ 使う 守る 操る

ハイブリッドIMSサーバー NXIシリーズ

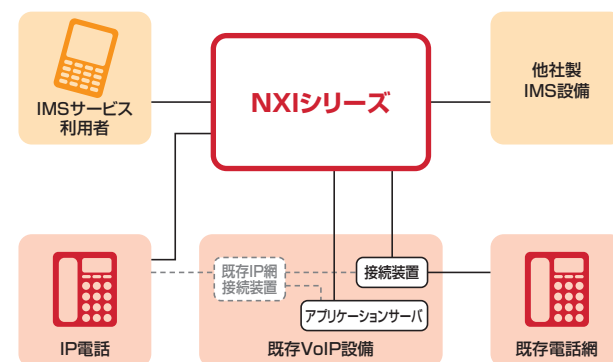
IMS (IP Multimedia Subsystem) とは、第3世代携帯電話や次世代通信網 (NGN) などで国際標準として採用された、異なる通信サービス上でマルチメディアサービスを実現するための技術です。

NXIシリーズは、このIMSのコアとなるユーザー情報の管理や接続制御などの機能を提供するサーバー製品群です。

最大の特長は、通信事業者の既存IP電話サービス網上で提供されているさまざまなサービスを、エンドユーザー側の設備を変更することなくNXI上にそのまま移行し、IMSベースの新サービスと同時に提供できる点にあります。

加えて他社製IMS製品との相互接続も可能なため、従来からのIP電話やIMSベースのサービス提供に影響を与えることなく、段階的な新サービスへの移行を実現。サービス切替に伴う設備投資負担の軽減に大きく貢献します。

■NXIシリーズの利用イメージ



繋ぐ 使う 守る 操る

M2M接続システム NX-M1000

M2M (Machine to Machine) とは、機械と機械がIPネットワークを介して相互にコミュニケーションを行う通信形態のことです。

当社のM2M接続システム NX-M1000は、通信制御プロトコルに当社のコア技術であるSIP^(※1) プロトコルを採用。通信の双方向性やリアルタイム性、セキュリティの確保、マルチメディア (画像、音声、端末制御信号など) 対応といった広汎なニーズに対応しています。

専用ハードウェアや通信制御のための追加機器を必要としない簡便な構成ながら、キャリアグレードの高可用性、サービス利用者数の増加に応じて柔軟に拡張が可能なコストパフォーマンスの高さといった品質面での特長も、通信事業者から高く評価されています。

M2Mは、いま注目のスマートグリッド^(※2) など、環境エネルギー分野における活用も進みつつあり、今後の成長が期待される製品です。

■NX-M1000の利用イメージ



繋ぐ 使う 守る 操る

SIP対応ネットワークフォレンジック^(※3)システム NX-C6000

IP電話サービスはインターネットと同様に、悪質な攻撃や脅威の対象となるリスクを孕んでいます。このリスクへの対策は、通信事業者にとって事業継続にかかわる重要な課題です。

NX-C6000は、こうしたセキュリティリスクへの対策を可能にするSIP対応ネットワークフォレンジックシステム^(※3)です。一般的な運用監視システムが備えるSIPメッセージ検索、トラフィックグラフ作成機能に加え、リアルタイム異常検知機能を備えることで、問題検出が難しいセキュリティリスクの「見える化」を実現します。

本製品の活用により、SIPネットワークの運用監視業務の効率化省力化だけでなく、障害につながる予兆を事前に察知することが可能となります。

繋ぐ 使う 守る 操る

ネットワーク監視システム

通信事業者のネットワーク監視センターなどで、通信トラフィックやネットワーク機器の状態を監視したり、システムの遠隔制御を行うための製品です。従来、音声とデータは別のシステムで管理されていましたが、近年の技術革新により、これらを統合的に管理することが可能になってきました。

当社が創業以来蓄積してきた、通信事業者向けシステムに関する経験とノウハウを活用できる製品として、拡大を図ってまいります。



用語解説

(※1) SIP (Session Initiation Protocol)

現在最も使われている、マルチメディアデータを端末間でリアルタイムに双方向通信するための通信制御プロトコル。IP電話、映像配信、インスタントメッセージに用いられるほか、情報家電や携帯端末などの組込み機器への使用が広がっています。

(※2) スマートグリッド

情報通信技術を使って電力の需要と供給を制御し最適化する“賢い (スマート)”送電網のこと。電力会社の送電インフラの効率化や、センサーネットワークを利用したオフィス・家庭内の省エネルギー化、太陽光発電などで生み出された電力を有効活用するための仕組みなど、多岐に渡る取り組みがスマートグリッドと呼ばれています。

(※3) ネットワークフォレンジック

ネットワークの通信記録を収集し保管することで、ネットワークの不正利用などの問題発生時に、不正の状況を再現し、原因の解析を行う活動のこと。セキュリティ問題の防止や抑制につながる対策として、注目されています。

Our Business from 2001

特集 ■ ネクストジェン 創立からの軌跡

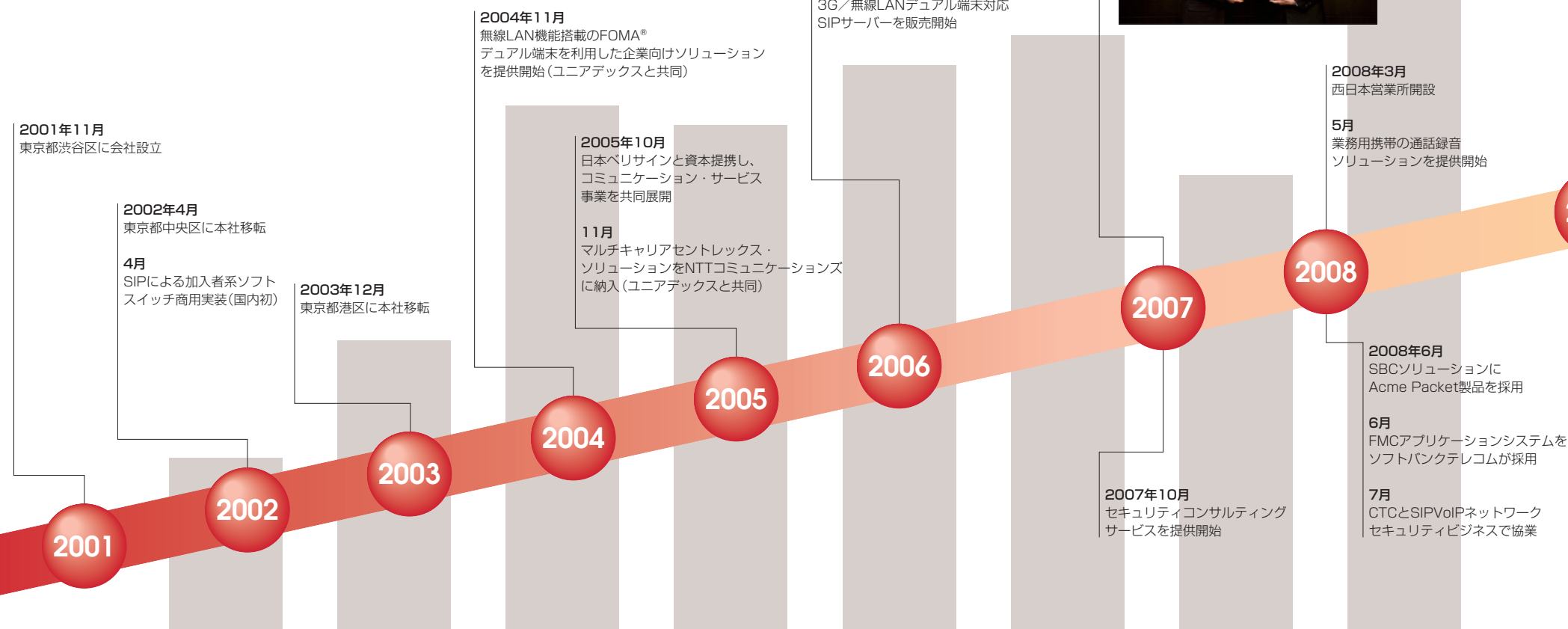
ネクストジェンは、おかげさまで第10期を迎えます。

創業以来、一貫して通信事業者向けSIP/VoIPソフトウェアの開発を手掛けてまいりました。

ネットワークのブロードバンド化が加速するとともに、

コンテンツやサービスはますます多様化し、通信事業者の要望はますます複雑、かつ高度なものとなっています。

当社はIPネットワーク分野における「繋ぐ」「使う」「守る」「操る」技術を通じてこうした期待に応え、新たな成長のステージに向けて果敢に挑戦してまいります。



■ 上記グラフは2001年から2009年までの売上高の推移を表しております。

2009年のトピック

3月 ■ 株式会社ラックとの協業による、国内初の企業向け「SIP/VoIPセキュリティ診断サービス」を提供開始

4月 ■ 独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) の提供するIPの脆弱性に関する検証ツールを株式会社ユビテック、株式会社ソフトフロントと共同開発

7月 ■ パナソニック株式会社と共同でデジタル情報家電に関する特許2件を取得 (特許第4348270号・特許第4348271号)

8月 ■ 米Sonus Networks, Inc.のIP通信ソリューションを全国規模で提供開始。初号案件として、国内大手通信事業者より全国規模のIPトランキングおよびスイッチングネットワークの導入案件を受注

■ キャリアグレード通話録音ソリューションを実現する通話録音サーバー「NX-C3000」を販売開始

12月 ■ SIP対応フォレンジックシステム「NX-C6000」を販売開始

Financial Statements

財務データ（要旨）

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第9期 2009年12月31日現在	第8期 2008年12月31日現在
資産の部		
1 流動資産	745,378	546,065
現金及び預金	133,858	204,299
売掛金	545,530	269,117
原材料	4,227	26,783
仕掛品	16,971	1,014
前払費用	12,237	23,156
繰延税金資産	26,448	12,050
未収入金	—	5,836
その他	6,104	3,806
2 固定資産	540,608	447,718
有形固定資産	69,300	86,032
建物	5,299	6,272
工具、器具及び備品	64,000	79,760
無形固定資産	390,337	330,745
ソフトウェア	373,560	291,349
ソフトウェア仮勘定	16,777	39,396
投資その他の資産	80,970	30,940
投資有価証券	50,016	—
繰延税金資産	—	156
差入保証金	30,954	30,783
資産合計	1,285,986	993,783

Point 1 流動資産・流動負債

期末における売掛金および買掛金の一時的な増加に伴い、総資産額も増加いたしました。

Point 2 固定資産

新製品の積極的な開発により、無形固定資産が増加いたしました。

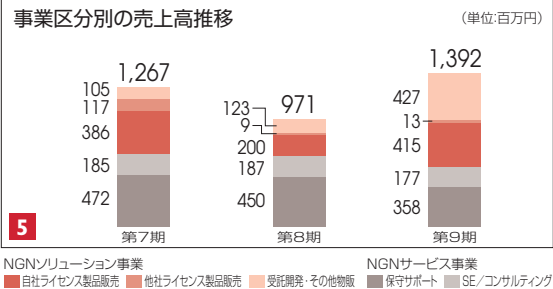
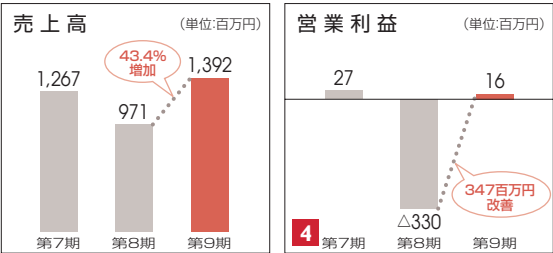
Point 3 株主資本

当期純利益27,124千円を計上したことにより、繰越利益剰余金がプラスに転じました。

損益計算書

(単位：千円)

科 目	第9期 2009年1月1日から 2009年12月31日まで	第8期 2008年1月1日から 2008年12月31日まで
売上高	1,392,731	971,485
売上原価	888,954	680,086
売上総利益	503,777	291,399
販売費及び一般管理費	487,098	622,061
4 営業利益又は営業損失(△)	16,679	△330,661
営業外収益	167	4,310
営業外費用	2,854	6,108
経常利益又は経常損失(△)	13,993	△332,459
特別損失	—	34,031
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	13,993	△366,491
法人税、住民税及び事業税	1,110	914
法人税等調整額	△14,241	2,047
当期純利益又は当期純損失(△)	27,124	△369,454



キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	第9期 2009年1月1日から 2009年12月31日まで	第8期 2008年1月1日から 2008年12月31日まで
6 営業活動による キャッシュ・フロー	162,433	△15,812
投資活動による キャッシュ・フロー	△264,462	△136,561
財務活動による キャッシュ・フロー	33,035	103,844
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1,447	△357
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△70,441	△48,886
現金及び現金同等物の 期首残高	204,299	253,185
現金及び現金同等物の 期末残高	133,858	204,299

Point 4 営業利益

全社的な経費削減の実施、人件費をはじめとする固定費の大幅な圧縮により利益率の向上に努めた結果、営業黒字化を達成いたしました。

Point 5 事業区分別の売上高

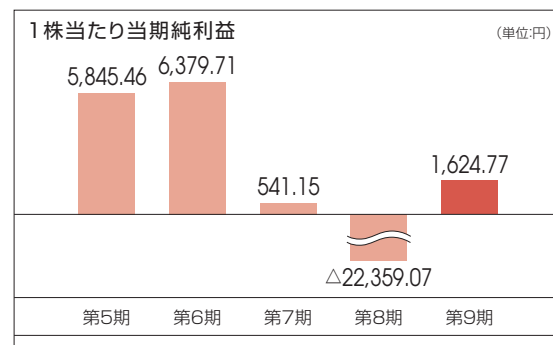
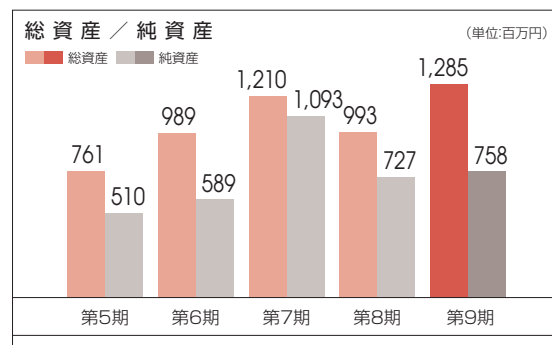
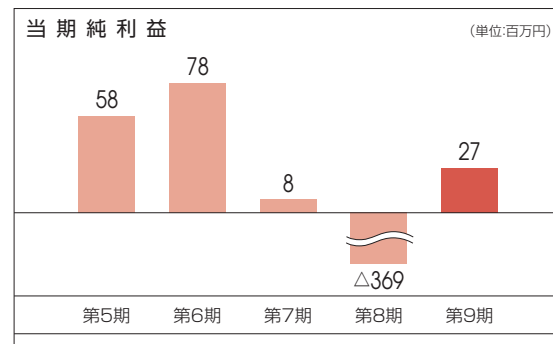
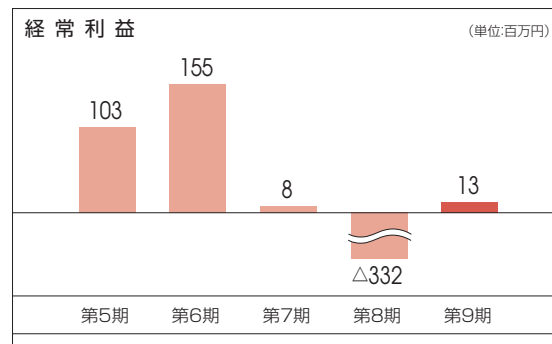
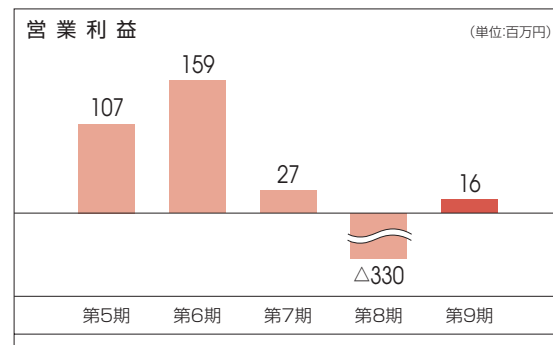
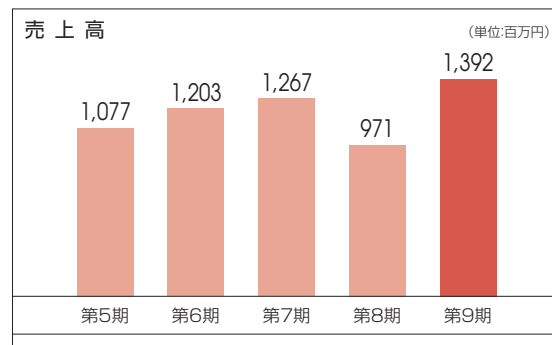
システム・インテグレーション案件に関わるネットワーク機器販売の増加に加え、当社の主力製品である通信事業者向け相互接続ソリューションをはじめとする自社ライセンス販売が好調に推移したことにより、NGNソリューション事業の売上が大幅に増加いたしました。

Point 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業黒字化の達成によりプラスに転じました。

Financial Highlights

財務ハイライト



Corporate Profile/Stock Information

会社概要 / 株式の状況

■ 会社概要 (2010年3月1日現在)

商 号 株式会社ネクストジェン
Nextgen, Inc.
所 在 地 〒102-0083
東京都千代田区麹町3-3-4
KDX麹町ビル (旧ベルモードビル) 9F
設 立 2001年11月16日
資 本 金 402百万円
従 業 員 数 70名

■ 株式の状況 (2009年12月31日現在)

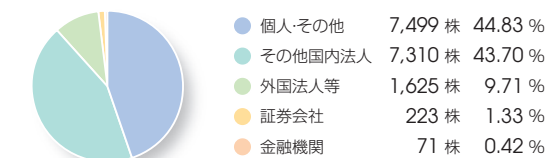
発行可能株式総数 60,000株
発行済株式総数 16,728株
株 主 数 1,166名

株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日商エレクトロニクス株式会社	6,796	40.62
ENTREPIA SOLUTIONS INC.	1,095	6.54
ネクストジェン従業員持株会	789	4.71
植山良明	609	3.64
古賀英明	506	3.02
日本ベリサイン株式会社	500	2.98
大西新二	481	2.87
GLQ, LLC	450	2.69
柏木宏之	220	1.31

■ 役 員 (2010年3月26日現在)

代表取締役社長 大 西 新 二
取締役副社長 柏 木 宏 之
取 締 役(社外) 牧 野 孔 治
取 締 役(社外) 伊 藤 正 喜
取 締 役(社外) 野 村 昌 雄
常勤監査役(社外) 飛 田 和 男
監 査 役(社外) 三 浦 靖 治
監 査 役(社外) 出 澤 秀 二

●所有者別分布状況



●所有株式数別分布状況

